

第10期 NPO法人子育てオーダーメイド・サポートこもも 総会資料

【 目次 】

2024 年度
事業報告書
財産目録
貸借対照表
活動計算書
財務諸表の注記
監査報告

2024 年度
事業報告
ヘルパーサポート集計
(青森・弘前・三沢・各委託)

青森
学 viva
おさんぽひろば はれるや
三沢
おさんぽひろばこっこ
弘前
おさんぽひろば はらっぱ

青森市市民活動活性化補助金事業 オトナのモノサシ見直そう事業



(法第28条第1項関係様式例)

2024年度 事業報告書

特定非営利活動法人子育てオーダーメイド・サポートこもも

I 事業の成果

2024年度は青森市・弘前市・平川市・三沢市の委託事業を受託、2025年5月からはおいらせ町の委託も始まりました。ニーズは高く、ヘルパー増員は今後も課題、2025年よりハローワークに募集も出す事にした。

あそびば・学vivaについては、もう少し定期開催の仕方を考えたり、告知などの工夫を重ねる。どちらもニーズがあり、参加者は増加傾向にある。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
産前産後ヘルパー養成研修	産前産後・育児支援を行うヘルパーの養成研修	2024.6~2025.5	青森・弘前・三沢	1	2	70
ヘルパー派遣	子育て家庭へのヘルパー派遣をして家事育児支援等を行う	随時	青森、弘前、平川、三沢、おいらせ、八戸	10	6684	2938
あそびば・学viva (はれるや・はらっぱ・こっこ)	0歳から入園前の親子を中心とした外遊び活動	各市公園や公共施設内など(週1・月2)	青森・弘前・三沢	11	840	78

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
なし					

法人名： 特定非営利活動法人子育てオーダーメイド・サポートこもも

財産目録

2025年 5月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	47,398		
ゆうちょ銀行(普通)	876,051		
ゆうちょ銀行(当座)	0		
流動資産合計		923,449	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			923,449
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			923,449

貸借対照表

令和07年05月31日 現在

特定非営利活動法人子育てオーダーメイド・サポートこもも

(単位 : 円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		負債の部合計	0
現金及び預金	923,449	純資産の部	
	923,449	科目	金額
		【株主資本】	923,449
		利益剰余金	923,449
		その他利益剰余金	923,449
		繰越利益剰余金	923,449
		(うち当期純損失)	△ 197,488
		純資産の部合計	923,449
資産の部合計	923,449	負債・純資産の部合計	923,449

2024年度 活動計算書
2024年6月1日から2025年5月31日まで
特定非営利活動法人子育てオーダーメイド・サポートこもも
(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	50000	
サポート会員受取会費	66000	
.....		116000
2. 受取寄附金		
受取寄附金（個人）	415600	
受取寄附金（法人）	193300	608900
3. 受取助成金等		
青森市民活性化事業補助金	235000	235000
.....		
4. 事業収益		
ヘルパー青森	776725	
ヘルパー青森委託	295800	
ヘルパー弘前	411625	
ヘルパー弘前委託	851400	
ヘルパー平川委託	760000	
ヘルパー三沢	449830	
ヘルパー三沢委託	2000170	
学Viva	27800	
補助金事業収益	144000	
ヘルパー研修受講費	15000	
5. その他収益		
受取利息		
雑収益	262713	
.....		5995063
経常収益計		6954963
II 経常費用		
1. 事業費（注1）		
(1) 活動費		
ヘルパー活動費	1185000	
ヘルパー委託活動費	1753400	
あそびば謝礼	78000	
活動費計	3016400	
(2) その他経費	0	
(3) 助成金支出		
青森市民活性化事業補助金	349970	
助成金支出合計	349970	
事業費計		3366370
2. 管理費（注1）		
(1) 活動費		
代表手当	1680000	
事務局	172500	
広報謝礼	285000	
人件費計	2137500	
(2) その他経費		
広告宣伝費	193100	
旅費交通費	724709	
通信費	81867	
事務消耗品費	76294	
支払手数料	290439	

地代家賃	180000	
保険料	7956	
交際費	7000	
租税公課	11	
研修費	45198	
雑費	10000	
会議費	18680	
講師費	10000	
印刷費	1387	
雑損失	1940	
その他経費計	1648581	
管理費計		3786081
経常費用計		7152451
当期経常増減額		-197488
III 経常外収益		
1. 固定資産売却益		
.....		
経常外収益計		
IV 経常外費用		
1. 過年度損益修正損		
.....		
経常外費用計		
当期正味財産増減額		-197488
前期繰越正味財産額 (注2)		1120937
次期繰越正味財産額 (注3)		923449

※ 今年度はその他の事業を実施していません。 **(注4)**

(注1) 人件費とその他経費に分けた上で、支出の形態別に内訳を記載する。

(注2) 前事業年度活動計算書の「次期繰越正味財産額」と金額が一致することを確認すること。

(注3) 貸借対照表の「正味財産合計」と金額が一致することを確認すること。

(注4) その他の事業を定款で掲げていない法人はこの脚注は不要。

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスを受入れは、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

(3) ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	ヘルパー自主	ヘルパー委託	あそびば・学viva	補助金事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費				0	116,000		116,000
2. 受取寄付金				0	608,900		608,900
3. 受取助成金等				0	235,000		235,000
4. 事業収益	1,638,180	3,907,370	27,800	144,000	5,717,350		5,717,350
5. その他収益				0			0
経常収益計	1,638,180	3,907,370	27,800	144,000	5,717,350	959,900	6,677,250
II 経常費用							
(1) 活動費							
活動費	1185000	1753400	78000	349,970	3,016,400	959900	3,976,300
活動費計	1,185,000	1,753,400	78,000	349,970	3,016,400	959,900	3,976,300
(2) その他経費							
広告宣伝費							193100
旅費交通費							724709
通信費							81867
事務消耗品費							76294
支払手数料							290439
地代家賃					0		180000
保険料					0		7956
交際費					0		7000
租税公課					0		11
研修費					0		45198
雑費					0		10000
会議費					0		18680
講師費					0		10000
印刷費					0		1387
雑損失					0		1940
その他経費計	0	0	0	0	0	0	1,648,581
経常費用計	1,185,000	1,753,400	78,000	349,970	3,016,400	959,900	5,624,881
当期経常増減額	453,180	2,153,970	△ 50,200	△ 205,970	2,700,950	0	1,052,369

3. 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳

施設の提供等の物的サービスの受入れの状況は以下の通りです。

(単位:円)

内 容	金 額	算 定 根 拠

4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の状況は以下の通りです。

(単位:円)

内 容	金 額	算 定 根 抱

5. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は()円ですが、そのうち()円は○○援助事業と○○基金事業に使用される財産です。したがって、使途の制約されていない正味財産は()円です。

(単位:円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期減少額	期末残高	備 考
					0 0 0 0	
合 計	0	0	0	0	0	

6. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	減 少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 車両運搬費					0		0
無形固定資産 ソフトウェア					0		0
投資その他の資産					0		0
C基金事業用預金					0		0
合 計	0	0	0	0	0	0	0

7. 借入金の増減内訳

借入金の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	期首残高	当期借入	当期返済	当期返済	期末残高
					0

8. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	財務諸表に計上 された金額	内 役 員 及 び 近 親 者 と の 取 引
		0

監査報告書

令和 6 年 6 月 26 日

特定非営利活動法人子育てオーダーメイド・サポートこども
代表理事 橋本 歩 殿

監査 株式会社わらび経理事務所
代表取締役 蕨

私は、特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、令和 6 年 6 月 1 日から令和 7 年 5 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容 監査は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び活動計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

2024年度 ヘルパー事業報告書

拠点別ヘルパーサポート 集計 月末×

青森	ベビカムコース		プラスコース		プランニング
	時間	件数	時間	件数	
6月	30	15	126	60	4
7月	44	22	115	55	1
8月	50	26	98	47	2
9月	76.5	36	119	57	
10月	66	31	118	57	2
11月	62.5	29	96	46	2
12月	37	18	100	46	2
1月	46	23	93	44	1
2月	56	28	125	60	2
3月	42	21	119	57	1
4月	30	15	110	53	
5月	28	14	96	46	
計	568	278	1315	628	17

青森委託	時間	件数	プランニング
6月	8	4	
7月	11	5	
8月	8	4	
9月	4	2	
10月	2	1	1
11月	2	1	
12月	17	8	
1月	12	5	
2月	12	6	
3月	12	6	
4月	12	6	
5月	14	7	
計	114	55	1

弘前	ベビカムコース		プラスコース		プランニング
	時間	件数	時間	件数	
6月	57.5	26	28	14	
7月	60.5	28	22	11	2
8月	48	23	14.5	7	3
9月	77	38	18	9	
10月	83	41	24	12	2
11月	50	25	18	9	1
12月	46	23	36	18	
1月	40	20	24	12	2
2月	60	27	20	10	1
3月	42	21	38	19	
4月	22	11	36	18	
5月	20	10	28	14	4
計	606	293	306.5	153	15

弘前委託	時間	件数	プランニング
6月	5	3	
7月			
8月	2	1	
9月	21	12	2
10月	35	19	1
11月	19	10	
12月	8	4	
1月	18	9	
2月	20	10	1
3月	16	8	1
4月			
5月			
計	144	76	5

平川委託	時間	件数	プランニング
6月			
7月			
8月			
9月			
10月	3	1	1
11月	20	10	2
12月	21	11	1
1月	10	4	
2月	12	6	
3月	20	10	1
4月	16	8	
5月	12	6	1
計	114	56	6

三沢委託	1 h	件数	2 h	件数	プランニング
6月	3	3	54	27	
7月	2	2	34	17	3
8月	3	3	36	18	
9月	1	1	62	31	2
10月	3	3	64	32	4
11月	5	5	72	36	
12月	2	2	52	26	5
1月	3	3	40	20	2
2月	6	6	52	26	3
3月	9	9	66	33	3
4月			106	53	2
5月	4	4	92	46	4
計	41	41	730	365	28

三沢八戸	ベビカムコース		プラスコース		プランニング
	時間	件数	時間	件数	
6月	22	11	32	16	
7月	15	6	36.5	18	1
8月	15	7	22	11	
9月	24	9	22	11	
10月	22	9	30	15	1
11月	16	8	30	13	
12月	16	8	26	13	
1月	14	7	26	13	2
2月	28	14	26	13	1
3月	30	15	28	14	
4月	26	13	28	14	
5月	34	17	16	8	1
計	262	124	322.5	159	6

2022年度計	237	115	292	146	5	2016	2017	2018	2019	2020
ベビカム	436	62	262	266	568	885	945	1383	1092	2176

年度	2021	2022	2023	2024
ベビカム	2575	1653	1370	1436

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
プラス	52	122	406	708	1167	1267.5	1920	2082	1944

※サポートの推移には各市委託事業の件数は反映されていません。□

2024 年度(2024/06~2025/05) あそびばはれるや(青森)活動報告

◆参加者数

	大人	子ども	その他	合計	備考		大人	子ども	その他	合計	備考
6/5	7	8		15	親子7組	12/4	4	4		8	親子4組
6/12	3	4		7	親子3組	12/11	5	6		11	親子5組 なっちゃんバイオリン
6/18	2	2		4	親子2組、特別編チューバ演奏会	12/18				0	中止
6/19	6	7		13	親子6組	12/25	3	4		7	親子3組、クリスマス会
6/26	4	5		9	親子4組	1/8	0	0		0	親子0組
7/3	6	7		13	親子6組	1/15	3	3		6	親子3組
7/10	7	8		15	親子7組	1/22	5	7		12	親子5組
7/17	2	2		4	親子2組	1/29	5	6		11	親子5組 バイオリン&パークッション
7/24	3	4		7	親子3組、ブルーベリー狩り	2/5	4	4		8	親子4組
7/31	5	5		10	親子5組、おさがりもって会	2/12	4	5		9	親子4組
8/7	3	3		6	親子3組	2/19	2	2		4	親子2組
8/14				0	中止	2/26	4	4		8	親子4組
8/21	5	7		12	親子5組	3/5	3	3		6	親子3組
8/28	6	7		13	親子6組	3/12	5	6		11	親子5組
9/4	3	4		7	親子3組	3/19	4	6		10	親子4組
9/11	5	6		11	親子5組	3/26	2	3		5	親子2組
9/16	5	4		9	親子5組 特別編じゃがいも堀り	4/2	5	8		13	親子5組
9/18	7	8		15	親子7組	4/9	6	9		15	親子6組
9/25	6	6		12	親子6組	4/16	5	6		11	親子4組
10/2	4	4		8	親子4組	4/23	3	3		6	親子3組 お花見散歩
10/9	4	4		8	親子4組	4/30	2	3		5	親子2組
10/16	4	4		8	親子4組	5/7	4	6		10	親子4組
10/23	6	7		13	親子6組、りんご狩り	5/14	7	7		14	親子6組
10/30	12	14		26	親子12組 おさがり会	5/21	4	6		10	親子4組
11/6	7	7		14	親子7組	5/28	3	2		5	親子3組
11/13	5	5		10	親子5組						
11/20	7	7		14	親子7組						
11/27	7	9		16	親子7組	合計	233	271	0	504	

1.はじめに

今年度は、昨年度から引き続き参加してくださる方が多く、安定した活動の土台が築かれた一年となりました。インスタグラムやチラシをきっかけに初めて参加してくださった方、産前産後サポートを経て遊びに来てくださった方、通りがかりにお声がけしたことがきっかけで後日参加された方など、新しいつながりも少しずつ生まれました。継続参加の方と新しく来られた方が自然に打ち解けていく場面も多く見られ、毎回あたたかな雰囲気の中で活動を行うことができました。

2.活動概要(2024年4月～2025年3月)

【春～秋(5月～10月頃)の活動】

春から秋にかけては、奥野中央公園や松原公園での外遊びを中心に実施しました。遊具や砂場、その時期に見られる葉っぱや木の実などを使って自由に遊び、夏場には水遊びも行いました。

昨年度は難しかった遊具に今年は挑戦できるようになったり、遊び方に変化が見られたりと、子どもたちの成長を感じる場面が多くありました。



【冬季(11月～3月頃)の活動】

冬季は主に、あわせプラザの遊戯室と和室を活用しました。遊戯室では、すべり台や車のおもちゃでのびのびと体を動かし、和室ではお弁当を食べながら保護者同士の交流の時間を持ちました。

子どもたちは昨年度の記憶が残っている様子で、昼食後に和室から脱走しようとする姿も見られ、その様子に皆で笑ったり、交代で見守ったりと、自然と「見守り合う子育て」の輪が育まれていきました。

昼食後には、各家庭から持ち寄ったおもちゃを使って遊ぶ時間を設け、保護者同士の情報交換や、子どもたちの新たなやりとりも生まれる、豊かな時間となりました。



【年間の特別イベント】

- 7月：ブルーベリー狩り（参加者限定）
- 10月：りんご狩り（参加者限定）
- 7月：チューバ演奏会（王恵幼稚園の協力により開催）
- 12月・2月：バイオリン＆ジャンベ演奏会
- 7月・10月：「おさがりどうぞの会」
- 12月：クリスマス会

音楽イベントでは、子どもたちが手拍子をしたり、体を動かして楽しむ姿が見られ、ママたちも演奏後に楽器に触れるなど、貴重な体験ができました。

クリスマス会では、衣装を楽しむ子、お部屋の飾りつけをしてくれる子、ホームシアターの持参など、参加者それぞれのアイディアが詰まった、手づくりの温かい会となりました。風船を使った遊びも盛り上りました。

また、夏休み・冬休み・春休みや学校行事の影響で、早く下校したお兄ちゃんお姉ちゃんの参加もあり、小さな子どもたちがその姿を真似して遊ぶ様子も印象的でした。



【安全面への対応と参加者の協力】

突然の雨や、公園近くでの猿の目撃情報、猛暑により急な場所変更など、急な対応が求められる場面もありましたが、チャット機能を活用してスムーズに連絡を取り合い、臨機応変に対応することができました。

参加者の皆さんとの協力により、「お互いさま」の雰囲気が自然と広がり、安心して活動を継続できたことに心より感謝いたします。

3.感想・振り返り

【参加者感想】

- ◎同じような境遇で頑張ってるママさんやこどもたちと出会って、一人じゃないと思った。転勤族なのでおともだちもたくさん増えたことがとても良かったです。
- ◎日々のゆるりとしたおしゃべりや時間に縛られずにふらっと立ち寄ってふらっと帰れる活動がとても好き。
- ◎引っ越してきたばかりで知り合いもいませんので、お母さん方とお話できて色々と教えていただけるのが助か

りますし、何より子どもが楽しそうに遊んでいるのが嬉しいです。

◎同世代の子達と一緒に遊ぶ機会が出来たこと、ママ同士で色々なお話が出来ることが良かった。

◎ブルーベリー狩り、芋掘り体験が楽しかったです。遠足に参加したこと、たくさんの思い出ができました。運転が苦手で土地勘もなかったのですが、集合場所や地図などを丁寧に教えていただき、とても助かりました。

◎自分では撮れなかった写真を他の方が撮ってくださったり、親子での2ショットも撮っていただいたら、BANDでの写真共有がありがたかったです。

◎転勤で青森市に来て誰一人として知り合いがないなったので、ママ友が出来て嬉しかったです。また青森市の子育て情報・生活情報も共有して頂けてとても助かりました。

◎子供と外にでかけるきっかけができる事、ママさんとお話しできる事などが良かった。

◎転勤族で、転勤直後に妊娠したので知り合いがおらず、旦那は仕事が忙しくて、育てられるのだろうかと不安感がつのっていました。

しかし、同じような転勤族の方の子育てを肌で実感して、色々な面で学びが多く、なにより笑顔にホッと安堵を感じました。

◎子供同士で遊べる点、遊んでる時にみんなで子供達を見てくれる点、お母さん同士の情報交換ができる点が良かった。

【24年度報告用スタッフ感想】

○今年度も、楽しく「はれるや」の活動に関わることができました。

昨年度から引き続き来てくれている親子さんも多く、子どもたち同士もすっかり「毎週会うお友達」になっていて、遊びの中にやり取りが生まれているのを感じました。一緒に遊んだり、時にはおもちゃの取り合いがあつたり…でも、そういう関わりの中で少しずつ成長している姿を見てることができて、とても嬉しかったです。

今年度はスタッフも4人になり、やれることの幅が広がったように思います。

また、BANDでつながっていたおかげで、急な雨や猛暑、公園に猿が出たときなど(笑)、予定変更もスムーズにできて本当に助かりました。

私自身はというと、ママたちとおしゃべりしたり、子どもあるあるで共感したり、青森の情報や最近のおすすめを話したり…そんな何気ない会話がとても楽しくて、心がゆるむ時間もありました。

「毎週の居場所」として、子どもたちも保護者の方々も安心して来られるような空気を、みんなで作っていたのかなと思います。来年度も、無理なく楽しみながら関わっていきたいです。

○いつもお会いする方はもちろん、はじましての方との新鮮なお話や久しぶりの方とのどうしてた?のお話など、はれるやのママたちとおしゃべりをすることは忙しい毎日の中で息抜きができるとても貴重な時間でした。たくさんのかわいい子たちとの出会いや、成長を見ることができたこともとても嬉しかったです。

また、この1年間普段の遊びの他に果物狩りや野菜の収穫体験、バイオリンの演奏会、クリスマス会、お花見と色々な楽しいことを経験させてもらいました。

妊娠中や産後で思うように動けない時も、参加者みんなで子どもたちを見守り関わってくれるあたたかいはれるやなので、安心して参加することができました。

色々な場面で助けていただき感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

○はれるやのスタッフを通じて、他の子どもたちを見守る意識が生まれたり、はれるやに誘うために公園出会った方に声をかけるようになったり変化がありやりがいがありました。遠足は企画をするところから参加できたのでさらに楽しくなりました。

自分で公園遊びに行くと1時間で退屈になってしまいますが、はれるやはママたちとお話ししながら3時間があつという間に過ぎるのでいつも充実した時間を過ごせています。

人見知りの娘もはれるやだと顔見知りの友達と手を繋いで走り回って遊んでいてとても嬉しいです。いまはスタッフを休んでいますが、落ち着いたらスタッフをしたいです。

2024年度(2024/06～2025/05)三沢チーム活動報告

あそびばこっこ

あそびばこっこは、おおむね毎月2回年間計19回開催しました。公園での外あそびを1回とキッズセンターそらいえのサークル支援室での屋内遊びを1回。外あそびは、三沢中央公園やこがね公園でボール転がしやシャボン玉遊び、水遊びなどの他、ねんね期の親子はブルーシートやラグの上に広げたおもちゃを囲んでおしゃべりを楽しみました。屋内あそびでは、新聞プールや木のおもちゃを広げたり、おさがりコーナーなど設けたりしました。参加者数は、親子125組、妊婦さん2人、計265人でした。

学viva

今年度からそらいえでのあそびばこっこは午後の時間に学vivaの開催を始めました。メイク講座、だっことおんぶの仕方、保育園の入園講座、性教育のお話、音あそびと絵本のワークショップを企画しました。外部講師の他、スタッフが講師を務めるスタイルもやってみました。また、10月からはママのためのやさしい哲学対話の講座も月1回カフェで開催しました。3/11のこっこ開催日には、災害時におむつ替えや授乳場所として利用できる赤ちゃんの駅を市役所子ども未来課からお借りして市職員の方の協力を得て遊び場の一角に設置し、子育て中の避難について話題にする機会としました。

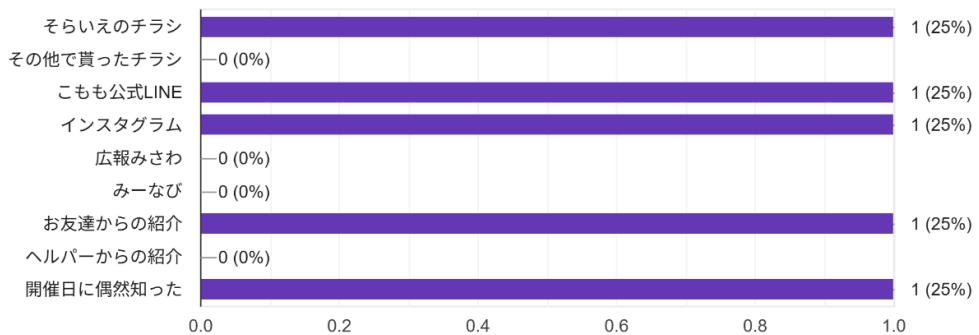


	大人	子ども	その他	合計	備考
6月12日	7	6	0	13	親子6組、妊婦1
6月25日	11	9	1	21	親子11組(あそびば9組、学viva2組)、学viva講師1
7月10日	6	6	0	12	親子6組
7月23日	8	10	0	18	親子8組
9月11日	3	3	0	6	親子3組
9月24日	8	8	0	16	親子8組
10月9日	5	5	0	10	親子5組
10月22日	3	2	0	5	親子3組(あそびば1組、学viva2組)
11月13日	2	3	0	5	親子2組
11月26日	14	17	0	31	親子13組(あそびば8組、学viva5組)
12月17日	8	8	0	16	親子8組
1月21日	5	6	0	11	親子5組
2月5日	0	0	0	0	寒さのため途中で中止
2月18日	12	12	0	24	親子12組(あそびば12組、学viva2組)
3月11日	7	8	0	15	親子7組
4月16日	6	5	0	11	親子5組
4月22日	9	9	1	19	親子9組(あそびば9組、学viva3組)、小比類巻まいさん見学
5月14日	4	4	0	8	親子4組
5月27日	11	12	1	24	親子10組、妊婦1、親子フォト会くぼさわなおさん
参加数	129	133	3	265	親子125組、妊婦2人

〈参加者アンケート〉

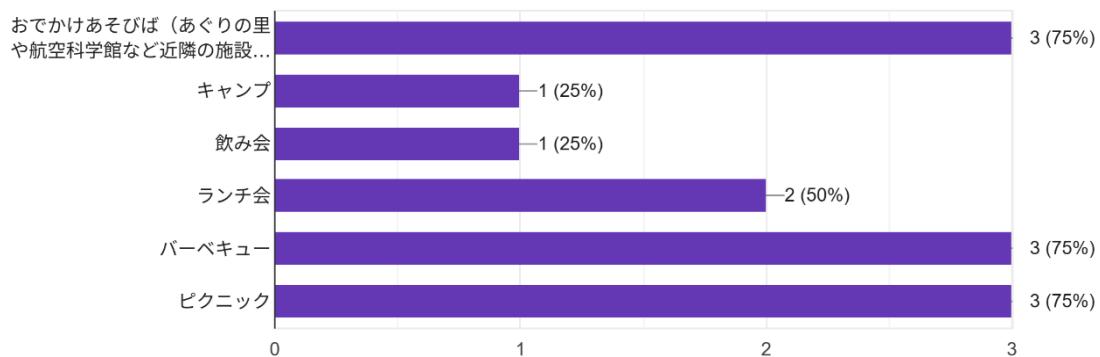
参加したきっかけは何ですか？

4 件の回答



開催された場合、参加したいものをお選びください

4 件の回答



参加してよかったです、助かった点はなんですか？4 件の回答

- ・お母さん方やお子さん達との交流ができて良かった事です。
- ・気軽に行ける
- ・ママさん達と交流できたこと。
- ・子どもが楽しそうに遊んでくれて、自分もママさん達とお話しすることができて楽しめたこと。

子育てや生活で困っている事、知りたい事はありますか？3 件の回答

- ・子供の発達です。
- ・生理前に感情的に子供に当たってしまうこと(通院予定)
- ・三沢市、周辺の子連れで行けるご飯屋さんや、イベントを知りたい

スタッフへ一言お願いします(皆さんへの声を励みに頑張っています！)4 件の回答

- ・こういう場を企画してくれてありがとうございます。
- ・毎月のあそびばこっこ開催ありがとうございます！！三沢に帰ったらまた参加させてもらいます！
- ・しばらく参加できませんが、継続して活動していく、ママさん達の交流の場になっていていいと思います！これからも頑張ってください！
- ・いつも話をするきっかけを作ってくださりありがとうございます！

〈スタッフ感想〉

・今年度もたくさんの親子があそびばに来てくれて、とてもうれしく思います。だんだんとあそびばが地域に定着してきたのかな?と感じる1年でした。特に「そらいえ」での開催は毎回多くの方にお越しいただき、まだ歩けない赤ちゃんも多かったのが印象的です。お母さん同士が話す場面も多く見られ、交流の場としても機能しているように感じました。その場限りではなく、お母さん同士が継続的につながっていけるよう、私たちもその架け橋となれるよう努めていきたいと思います。一方で、外遊びでは中央公園は多くの参加者があり、その場に遊びに来ていた方の参加も見られましたが、こがね公園では参加者が少なめでした。雪遊び以外は、中央公園を中心に開催する方が良いかもしれません。

今年は「マナビバ」も開催しましたが、全体的に参加者が少なく、午後開催だったためお昼寝と重なったことが原因の一つかと思います。来年度は開催時間を見直す必要がありそうです。来年度は、オープンチャットの活用をさらに進め、お母さんたちが交流できるようなイベントにも取り組んでいきたいです。

・元々はあそびばを利用していた一人でしたが、毎回参加する気持ちだったこと、そして子育てをする人のシェルターのような場所を作りたいという想いも重なり、スタッフになりました。スタッフになったとはいえ、これまで通り自分の育児の悩みを相談したり、辛い気持ちを吐き出したりして、相変わらずあそびばは自分自身が救われる場所に変わりありません。参加者からスタッフになって大きく変わったことは、より一層子どもたちの成長に注目するようになったことです。前回会ったときはずり這いだったのにはいはいしているとか、子どもたちの成長をさらに嬉しく感じるようになりました。「はいはいするようになったんですね!」と伝えた時の、ニッコリ笑うママ達の表情も大好きです。参加者の中には毎月あそびばの予定があることに救われていたという人もいて、大人も子どもも安心して交われる場所づくりができたことを嬉しく思います。今後、平日勤務しながらこもの活動にどう関わるか、模索しながら活動を続けていきたいと思います。

・この1年間、0~2歳の親子の自由なあそび場の運営に携わりました。月1~2回の活動でしたが、リピートしてくれるママが増えて、みんなにとって居心地のいい場所になっているなど感じています。また、今年は初めて音あそびの講師もさせてもらいました。活動で一番気をつけたのは、お母さん同士をつなげることでした。共通の悩みや趣味を見つけて、自然におしゃべりのきっかけを作るようにしていました。子育てって孤独になりがちだから、少しでもそれを和らげられたらしいなと思って。音あそびでは、大人も一緒に遊び心を刺激し合えて、家でも親子の遊びが広がりそうだと感じました。私自身も変わりました。自分の子が小さかった頃の悩みを、今は長い目で見られるようになったんです。ちゃんと手をかければ子どもは自分で育つから、心配しすぎなくてもいいんだなと。現役ママたちとの話から、仕事復帰で大変だった頃を思い出すこともありました。少し先輩の気持ちで、ゆったりと関わることができて、本当に幸せな時間でした。活動の後は娘がいっそかわいく見えるのも嬉しい発見でした。この1年で、やっぱりこの場所は必要なんだなと実感しています。

2024 年度(2024/06~2025/05)はらっぱ(弘前)活動報告

◆参加者数

	大人	子ども	その他	合計	備考
6月7日				0	この日の参加者は無し
6月21日	12	4		16	親子3組、祖母・親子1組、うち妊婦1名
7月5日				0	この日の参加者は無し
7月19日				0	この日の参加者は無し
8月9日	2	4		6	親子2組
9月28日	8	8		16	親子5組
10月12日	6	7		13	親子5組
11月16日				0	この日の参加者は無し
12月13日	2	2		4	親子2組
12月20日				0	この日の参加者は無し
1月17日				0	大雪のため中止
1月24日	1	1		2	親子1組
2月7日	1	1		2	親子1組
2月21日	2	2		4	親子2組
3月7日	1	2		3	親子1組
3月14日	3	2		5	親子1組
合計	38	33	0	71	

1.はじめに

本年度も「はらっぱ」では、自然の中でのびのびと遊べる場の提供を通じて、子どもたちと保護者と一緒に様々な体験をしました。

2.活動概要(2024年4月~2025年3月)

【4~5月】

フィールド:「お岩木山自然農園」

頻度:月2回程度、金曜日の隔週開催

告知:チラシはヒロロと農園関係者に配布、その他はスタッフが手渡し



【6~11月】

実施日:6月21日(金)に1回(6・7月計画4回中)

参加者:お岩木農園主催者の告知により、大人の関心が高い傾向

変更点:アクセスの課題から、9~11月は土曜開催に変更

8~10月は3回開催し、いずれも賑わいを見せた

参加者傾向:主に既存のつながりのある方だが、SNS(インスタ)経由の新規参加もあり



【12~3月】

会場変更:「みたけ児童センター」に移行

頻度:月2回、金曜日開催

備考:前年同様の施設利用によりスムーズな運営

- 参加者傾向:6~11月の継続参加者が中心、新規もSNSを通じて参加

3. 感想・振り返り(スタッフ)

【反省点】

- 「お岩木山自然農園」での土曜開催の判断が遅れたことによる機会損失
- 11月の開催が寒さにより厳しかった点(11月から山を下りる選択もありだった)
- 弘前大学職員宿舎へのポスティングによる地域理解の深化(参加にはつながらなかつたが大きな学び)

【感想】

- 自然農園での活動は外遊びとして最高の環境で、参加者も覚悟をもって臨んでくれていた
- 後半の活動では、外遊びニーズより「人とつながりたい」ママの声が印象的だった
- 2年間関わる中で、自身の成長と次年度へのイメージが明確に
- 「状況や仲間によって柔軟に変えられる」それこそが「はらっぱ」らしさと実感

【おわりに】

「はらっぱ」は参加者・スタッフ双方にとって、発見と成長に満ちた場であり続けました。



事 業 報 告 書

事業名	大人のモノサシ見直そう！連続講座		
団体名	NPO法人 子育てオーダーメイド・サポートこもも		
事業実施場所	青森市内公共施設		
事業対象者 及び参加人数	(58 人)		
事業に従事した 人数	会員 2 人	・	会員以外 人
事業実施期間	2024年 5 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日		
事業実施内容	①どこから来てる？子どもの成長と発達の困りごと～だっこサポートを続けてきたからこそ見えてきたこと～ 講座 ②子どもの権利の視点から子どもの声を聞く/災害と子どもの遊び場/子どもの声を元にした施策づくりやまちづくり 講座 ③大人のモノサシ見直そう 講座 ④みんなで生きる地域をつくる「コミュニティワーク入門講座」 ⑤自分の場所があると思える組織や団体づくり 講座 ⑥子どもの育ちを地域で支える仲間づくり 講座 6名の講師による連続講座		

2024年7月7日(日) 講師 迫 きよみさん(特定非営利活動法人 子育てを楽しむ会 理事長) 参考人数 8人
どこから来てる？子どもの成長と発達の困りごと～だっこサポートを続けてきたからこそ見えてきたこと～
午前中は、赤ちゃん先生が大活躍。お母さんを初め、乳幼児に関わる支援者や、乳幼児期の発達に興味のある大人が学びを深めました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ずり這いつてすごく大事だって言うけどそれってなんで？ ・追視遊びが生む寝返りの秘訣 ・うつ伏せ遊びのポイントやテクニック
などなど、現役お母さんが今悩んでることを迫さんの長年の赤ちゃんとの関わりから紐解いてくれました。
午後は、支援者向けの講座に切り替わり、支援者から日頃の疑問や悩み事を解決しながら進めていく時間となりました。
<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんの人権の話 ・赤ちゃんの瞳に映る自分の話 ・守る抱っこと攻める抱っこ ・赤ちゃんやお母さんに語りかけふ愛情と気の話 ・抱っここの転換期2010年
などなど、私たちの大事だと思ってるけどなぜ、それが大事なのか、それをどうすると支援に役立つかをより深いところまで話してくれました。

今回の講座を通して得た学びをそれぞれの場で活かして、赤ちゃんも一人の人間としてあたりまえに過ごせる社会を目指していきましょう。



2024年9月1日(日) 講師 神林 俊一さん(一般社団法人 プレーワーカーズ 理事)

参加人数 8人

子どもの権利の視点から子どもの声を聴く/災害と子どもの遊び場/子どもの声を元にした施策づくりやまちづくり

内容

午前は、子どもの声を聴くことの基礎編を行い、傾きや目線、ファシリテーターとアドボケイトの違いなど、様々な観点から子どもの声を聴くことの難しさと大切さを学びました。

子どもの声を聴く

神林さん自身は子ども真ん中社会を目指す、日本の社会の中で今1番の注目ワード。日本の子どもの施策作成のために最前線で子どもの声を聴く活動を行っています。

子どもの声を聴く=困難を有する子どもたちの声を聞くことだと私たちは、思っていませんか？

子どもの声は、様々です。私たちは子どもの声をどのくらい聞いて、1人の人間としての意見を尊重できているのかを再確認する機会となりました。

午後はみんなで楽しく、子どもの権利を理解しながら進めるすごろくを使ったワークや子どもセーフガーディングの基礎、能登半島地震の今など、今、子どもたちが置かれた状況を元に今後5年間がいかに子ども施策に子どもの声が反映されていくのかの重要性の理解を深めました。

子どもの声を聴くことが社会的マルトリートメントの予防に繋がるひとつのアクションです。

講師より情報提供

https://www.spt.metro.tokyo.lg.jp/kodomoseisaku/book/practical_examples/html5m.html#page=59

https://www.spt.metro.tokyo.lg.jp/kodomoseisaku/book/feedback_hearing/html5m.html#page=9

<https://tokyoplay.jp/event-20230421/>



2024年10月21日(日) 講師 武田 信子さん(一般社団法人ジェイス代表理事)

参加人数16人

大人のモノサシ見直そう

内容

- ・年収3000万以上ある人は羨ましい?
- ・オリンピックで金メダル取れる人はかっこいい?
- ・リーダーシップをもてる人はすごい?
- ・東大出身の人はすごい?

こどものウェルビーイングという言葉が日本国内ではものすごく注目され、流行るようになりました。ウェルビーイングの本当の意味を理解し、説明できる人はどのくらい、いるのでしょうか? WHO(世界保健機関)は、身体的にも精神的にもまた、社会的にも満たされ健康的な状態のことをウェルビーイングと言っています。

私たちが住む日本や青森は、こどもたちまた、社会的に弱い立場の人達のウェルビーイングは、本当に保証されているのでしょうか?

自分のモノサシ(価値)を見直し、変え(リフレクション)し、社会のモノサシを変えていくことが大切です。※リフレクション…あたりまえを正しくする。

自己効力感と学習性無力感、エンパワメントとディスエンパワメント、民主主義とは? デモクラチとは? など、私たちのモノサシを今一度見直す機会となりました。

決して正解はありません。つねに問うこと【はて?】と考えていくことの重要性に気づけたのではないでしょうか?

社会を変えるアクションには5つの力【信念信条・お金・数・情報・地位】がコミュニティワークでは、必要といわれているそうです。

5つの力の理解をみんなで深めて来月はコミュニティワークについて学びましょう😊



2024年12月1日(日)講師 横須賀 智子さん(特定非営利活動法人セカンドリーグ茨城 理事長)
参加人数15人
みんなで生きる地域をつくる「コミュニティワーク入門講座」

内容

この回も4回目となりました。赤ちゃんや新生児が取り巻く環境の変化や発達の話から始まった1回目。こどもの権利やこどもの声を聴き届けることで社会にアクションを起こすことを2回目で学びました。第3回目にオトナノモノサシ(価値のリフレクション)を行ってから4回目の今回は、社会を変えるアクションのためにコミュニティワークについて学びました。

——皆さんは自由を手に入れるためには何が必要と考えますか？

コミュニティワークの中では、自由を手にするためには活動的で責任を持つことが必要と言われています。組織化すること(一見バラバラの人を共通項で1つにする)で、人は主体的になると考えられています。

——この回での最大の問は、「コミュニティとは？」でした。

活動的で責任を持ち、組織化することで生まれるのこそコミュニティなのでないかと考えた回でした。

さあ、活動的で責任を持ち組織化することって具体的にどんなことなんでしょうか？私はこの場の当事者であると思える場や組織の作り方を具体的に学びませんか？

そんな話を次回、埼玉より西川さんにお話してもらいます。

(余談)焼き芋しませんかキャンペーンを始めるためにも一緒にあたふたしてみる方法も勉強してみませんか？



2025年1月26日(日)講師 西川 正さん
(岡山県真庭市立中央図書館 館長、特定非営利活動法人「ハンズオン埼玉」理事)
参加人数15人
自分の場所があると思える組織や団体づくり

内容
岡山での図書館長から地元さいたまでは、PTAの活動から町内会まで様々されている西川さん。
たくさんの場があるけれど、そこは自分が居たい場所になっているのか？

西川さんはどんな工夫と仕掛けをされているのかなど、トークフォーカダンスの体験ほか、持ち寄りのお菓子から、絵本から、たくさんの事例とワークから学ぶことができました。

ワークの合間、休み時間、お昼休み、講座が終わってからも参加者のみなさんお話を止まりませんでした。

この日のこの時間、参加者のみなさんにとって自分の場所となったのではないですか。

参加者も先生から子育て支援、学生さんまで県内外からといろんな立場から、中には西川さんの本を持参の方もいらっしゃいました。

それぞれの場所で活用できるワークや、案など持ち帰る事が出来きました。



2025年2月23日(日)講師 松田 妙子さん(特定非営利活動法人せたがや子育てネット代表理事)	参加人数10人
子どもの育ちを地域で支える仲間づくり	
安心と挑戦で、社会の厚みを増すことこそ、子どもの育ちを地域で支える大人なのでは？？	

この勉強会も最終回、ワークを中心に進んでいきます。回を増すごとにこどもを取り巻く環境の変化をみんなが深く考えているからこそ、自らができるアクションを考えていました。

そんなことを知っていたかのように、進んでいく松田さんの話は、ハードルが低いところから始められる事例から、こども家庭庁が取り組む施策(ガイドライン)を読み解きながら、今、自分たちができることは何かを考える時間になりました。

ワークを中心に、それぞれが、もっている個の力を何とか一つに出来ないものかと考える時間ともなりました。アフター会を検討したいものです(検討中です 😊)

全6回。オトナノモノサシを今一度振り返り、価値を変え、社会のアクションとして捉える。6人の講師の皆さん、そして、参加してくれた皆さん、ありがとうございました！

——わたしは、社会を変えられる。

そんな人達が青森から、大きくとも小さくとも仲間が増えていくことが実感できた勉強会でした。またどこかでお会いしましょう！

